



子どもと先生の 笑顔あふれる 学校づくりをめざして



先生たちの長時間勤務が深刻です

教職員の働き方改革に関するアンケート結果より(令和7年2月)

平均学校滞在時間



11 時間

勤務時間(8h30m)
より 2h30m 超過

睡眠時間



足りていない

42%

自己学習の時間



足りていない

69%

年間の時間外勤務が
360 時間※を
超えている者

小学校 **53%**

中学校 **71%**

令和6年3月末時点

勤務時間外に
行っている業務

1位 授業準備

2位 部活動指導

「もっと力を入れたい」
「もっと時間をかけたい」
と思っている業務

1位 授業準備

2位 児童生徒への
生活指導

※文部科学省ガイドラインで示されている勤務時間の上限

社会の急激な変化とともに、学校が抱える課題は複雑化・困難化しています。また、学校に期待する要望は多様化しており、先生たちの勤務状況は、心身の健康を保つことが難しい状況です。

各学校での働き方改革にご理解・ご協力をお願いします



学校・先生が行っている業務を見直しています

学校における働き方改革の目的は、「教育の質の向上」です。先生が長時間勤務で疲れていては、子どもたちに対して、効果的な教育を行うことができません。先生が心にゆとりをもって、子どもたちと向き合う時間を持つことができる職場環境づくりのため、各学校と教育委員会が連携し、様々な取組を進めています。



学校業務のデジタル化

子どもたちの情報を一元管理できるシステム運用や、アンケートフォームを活用した情報収集などにより、業務の効率化を進めています。



時間割や行事の見直し

時間割や学校行事が、子どもたちの実態に合った効果的な教育活動となっているかを見直し、常に改善や工夫を行っています。



専門スタッフの活用

学校の環境整備や部活動指導など、先生以外でも行うことができる業務は、学校業務アシスタントや、部活動指導員などの、様々なスタッフにご活躍いただいています。



保護者・地域の皆様へお願いです

学校における働き方改革を進めるためには、行政や学校の取組だけでは限界があります。保護者・地域の皆様のご理解・ご協力が必要不可欠です。

▶ 学校への電話連絡は、学校の勤務時間内※にお願いします。



勤務時間の適正化を図るため、全校でオートメッセージ機能付電話を導入しています。

緊急対応を要する場合は、警察など専門機関へのご連絡をお願いします。

また、お子さまの欠席連絡は、学校・保護者連絡アプリ『Home & School』からお願いします。

▶ 学校・教職員との面談や会議などは、学校の勤務時間内※にお願いします。



教職員が勤務時間外に面談をしたり、関係団体との会議等に出席したりしているなどの実態があるため、これまで慣例的に勤務時間外に学校が担っていた対応や役割を見直しています。ご都合がつかない場合もあるとは思いますが、勤務時間内の時間設定にご協力をお願いします。

※各校の勤務時間は 8:20 頃～17:00 頃に設定されています。

本市の学校が、子どもと先生の笑顔あふれる学校となっていくよう、
取組へのご理解・ご協力をお願いします。

